

施設名	日野市立はくちょう
指定管理者名	社会福祉法人 日野市福祉事業団
指定期間	平成24年4月1日 から 平成26年3月31日

A評価		①	②	③	④
審査項目	評価事項	評価点			
公の施設について市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されたか	①市民の平等な利用が確保されている				
	②誰でも利用できる配慮はなされている				
	③利用者の意見を反映する仕組みがある				
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されている				
	⑤事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられる				
	評価点×3倍	15	9	12	9
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できている				
	②防災・防犯時の危機管理対応策は適切である				
	③日常的な安全管理が十分に考えられている				
	④専門的な知識・技能・設備等は確保されている				
	⑤労働法令の遵守や雇用・労働条件への適切な配慮がされている				
	評価点×2倍	8	6	8	6
その他	①個人情報を保護するための体制が整っている				
	②環境への配慮がなされている				
		4	3	4	3
	A評価計	27	18	24	18

B評価		①	②	③	④
審査項目	評価事項	評価点			
サービスの質を向上させるための方策を講じたか。	①障害者自立支援法等の法令を遵守した運営を行い、また利用者の支援を適切に行える人員配置ができていたか。				
	②職員会議やケース会議等を定期的に行き、また各関係機関と連携を密にすることにより、利用者に対して適切な支援を行える体制がとられていたか。				
	③利用者が積極的に通所したいと思えるような環境の下で適切な支援を行っていたか。				
	評価点×2倍	4	6	8	6
事故対応を徹底したか。	①利用者が重度の知的障害者であることに考慮した、介護中の事故の未然防止策を講じていたか。				
	②事故が発生した際、適切な対応しており、再発防止の策も講じていたか。				
		5	3	4	3
利用者が安全・安心して施設を利用することができていたか。	①定期的な清掃や給食の管理等によって、利用者の衛生面を考慮したサービスを提供できていたか。				
	②障害者が利用する施設として、災害対策や警備体制はしっかりととられていたか。				
		4	3	4	3
事業に要する費用を削減できているか。	①事務の効率化や無駄の削減等により、経費を節減することができていたか。				
	②各関係機関との連絡を緊密にする等、利用者増の方策を採ることにより、利用者の増加・利用率の向上が図られたか。				
		3	4	4	4
熱意・意欲・積極性を持って事業を実施していたか。	①既存事業の定期的な見直しや新規事業の立ち上げ等、事業展開を積極的に行っていたか。				
	②周辺住民・地域に受け入れられていくような事業を実施していたか。				
	③				
		5	3	4	4
	B評価計	21	19	24	20

評価基準

高い.....5	優れている
やや高い・4	概ね満たされ一部に優れたところがある
普.....3	概ねできている
やや低い・2	一部に課題がある
低い.....1	課題も多く改善が必要である